

## 19年6月議会

### まつお栄子の一般質問

(赤字は主な回答) (青字は、まつおの解説)

#### 1. ひとにやさしいまちづくりについて

##### (1) 交通安全対策・生活環境の保全

①来街車両・通過車両・生活車両の分散に向けての今後の道路計画

①100m道路(本体部分)は19年度から事業化(⇒国道464号の混雑緩和に向けて千葉NT中央～日医大間の側道内側部分に新規道路を建設。通過車両と来街・地元車両を分ける計画。)

②千葉・柏道路計画で利根川沿いルート案公表(⇒慢性的に渋滞する国道16号のバイパスとしてこれまで手賀沼ルートが検討されていましたが、野山～利根川沿い～印西～八千代(16号)の新ルートが具体的な検討案として提示されました。16号の渋滞緩和の他、東葛、八千代、千葉等と千葉NTを結ぶ広域的道路ネットの構築、地域間交流の促進等が期待されます。)

③船橋・印西線で北環状線以北のNT内も整備開始、の3つの新しい動きのほか、●(仮称)コスモス通り●市道00-031号線、等の整備を鋭意進めている。

##### ②進入車両増加に伴う危険箇所の交通安全対策

###### ○中央駅圏・木下街道間

今年度当初、地元町内会からも要望があり、カーブの安全対策としてカーブ区間にガードレールを設ける。

###### ○船橋・印西線と千葉ニュータウン北環状線の交差点

県の同意を得て都市再生機構が暫定形で整備・管理。市としても必要な安全対策を要望する。

⇒その後、7月初めに交差点の見通しをさえぎっていた雑草が刈られ、周辺が整地されるとともに、近くミラーが設置される見通しになりました。

###### ○県道千葉・竜ヶ崎線の歩道の分断について

民有地との境界が確定できないため整備ができない状況。引き続き、管理者である県に整備を強く要望していく。

##### ③(仮称)イオンショッピングセンター南棟について

###### ○計画内容

店舗面積7206㎡、鉄骨造2階建て、ドン・キホーテと家電量販店、小規模店舗が入り、営業時間は午前10時からドンキで最大午前2時まで。工事は10月末までの予定。⇒県への届出では終夜営業としていましたが、その後営業時間を変更。家電店はコジマデンキで、求人を開始。

###### ○深夜営業に伴う防犯・防災対策について

消防組合から指導方針を伝えた。今後も消防法に基づく消防署の立ち入り検査等で防災に努める。

##### ④印西牧の原駅圏交通問題報告書に掲げる渋滞緩和策

###### ○道路ネットワークの整備

ニュータウン北環状線は船橋・印西線以東ルートを見直し、本年より整備開始。南環状線は船橋・印西線～電機大までの区間を平成22年供用開始を口指し整備。

###### ○シャトルバス運行について

渋滞緩和策の一環として、印西牧の原駅圏進出企業懇話会が事業主体となり、19年9月から翌年2月末までの土・日・祝日・年末年始に試験的に運行。

##### (2) 高齢者福祉・地域福祉の充実について

①今後の人口予測と高齢者人口予測(2010年・2020年・2030年)

	人口	65歳以上	高齢化率
2007年3月	61,621人	8,294人	13.45%
2010年	67,000人	9,700人	14.47%
2020年	70,289人	16,813人	23.91%
2030年	70,996人	21,242人	29.91%

(2020年以降は人口問題研究所の市町村別将来推計人口)

⇒印西市は現在、平均年齢が県内2位の若い市ですが、同世代住民が多く、10年後位から急激に高齢化が進みます。現在、平均年齢が若いことから、福祉施設等はまだまだ少なく、計画的に整備していかないと、福祉難民が出てくる恐れがあります。

②高齢者福祉施設の設定状況と今後の予定(高齢者福祉施設の整備を計画的に進めるべきでは)

次期介護保険事業計画で適切に位置づけ、対応していく。

③空き室・空き家対策(防犯・防災面からも対策が必要)

都市再生機構で空き室活用について現在検討調整中。

④地域福祉計画について(市民にどう周知し協力を得るか。活動の拠点づくり、福祉の総合相談窓口について。)

6支部社協ごとに座談会を実施。推進プロジェクトを中心に取り組む。総合相談窓口は市役所改修に合わせて進める。

⑤地域商業、近隣商業の活性化について(高齢化の中、徒歩や自転車で行ける商業施設は重要に。活性化対策は。)商工会が空き店舗対策事業等を実施しており協力・支援していく。

#### 2. 財政基盤のつよい安心なまちづくりについて

##### (1) 成田新高速鉄道・北千葉道路について

①進捗状況 ②今後の見通し

鉄道は印旛村区間で94%、成田市区間で60%用地契約。

印旛沼橋梁ほか全区の橋梁下部工事を発注している。

鉄道は22年度開業、北千葉道路は20年代半ばの完成目標。

##### (2) 企業誘致の現状と見通し(松崎工業団地・市内各域)

企業庁分で9区画8社、一般地権者用地で9社が立地。順調である。

今後、県の「千葉新産業振興戦略」等を考慮し方針を検討していく。

⇒今年3月のNT事業見直しで、牧の原北側や鹿黒等に複合機能用地が導入され、民間企業の立地が可能になりました。テーマ性、計画性のある企業誘致で市民に安心な産業構造の形成を図ると共に、関連企業の集積等も促進していくことができます。

##### (3) 北総線の高運賃対策(市民生活に大きな負担。今後の企業誘致、住宅販売、転入増加等まちづくりの面からも重要では)

市の最重要課題と捉え、2市2村の対策協議会で取り組んでいる。新高速開業の22年度が大きな節目。市民、沿線市村と連携を図りながら取り組んでいく。

##### (4) 木下駅・小林駅の利便性向上について

今年5月30日、木下駅橋上駅舎・自由通路の工事に着手。

20年12月の供用開始目指す。小林駅は印西・栄・本埜・

印旛の4首長でJRへ要望、今年度中に自由通路・橋上駅舎

の概略設計に着手する。

#### 3. 市民がわかりやすい情報提供について

##### (1) 大店法届出の縦覧等のインターネット公開

届出状況がわかり次第、早急にホームページに掲載していく。

⇒数日後、市HPにさっそくイオン南棟の届出が掲載(リンク)されました。

##### (2) 建築確認申請届出等のインターネット公開

個人情報であり、広く一般公開はできない。

##### (3) 市ホームページのアクセシビリティ向上について

①市民が知りたい情報にたどり着きやすい検索システムの導入  
現在のHP管理システムの更新・変更時(20年中)に検索システムの強化を行う。

②市庁舎入り口・各出先機関等への検索端末の配置  
市庁舎入り口への配置は庁舎改修に合わせて検討する。

##### (4) 印西市情報化計画の推進体制について

①今後の推進体制

庁内組織及び情報化推進会議で、情報化の推進を図る。

②「県および市内市町村との共同利用」の具体的な想定  
協議会に参加し、電子申請・届出システム、電子調達システムで共同利用を進める。